

～第2波に備えた医療体制の充実～

## 新型コロナウイルスの検査法の進展に伴う対応

手法の拡大		検査機関の拡大
PCR検査	(6月～) 鼻咽頭拭い液＋唾液	衛環研＋医療機関＋民間検査機関
抗原検査（定量）	(6月～) (6月～) 鼻咽頭拭い液＋唾液	医療機関＋民間検査機関
抗原検査（定性） （迅速キット）	(5月～) 鼻咽頭拭い液	医療機関

### 新たな検査体制の検討

#### ①検査機器の整備（継続）・・・700検体/日以上の拡大を見込む

4月～ 今後の見込み 現行(医療機関) 今後の見込み(医療機関)  
PCR (196検体/日 → 460検体/日) + 抗原 (120検体/日 + α (120検体/日))

#### ②唾液を用いた検査（メリット：検体採取時の感染リスク低下）

- ・接触者外来以外への検体採取場所の拡大

#### ③抗原迅速キットの利用

- ・救命救急センター等において迅速判断が必要な場面での利用

#### ④民間検査機関の活用・・・2,000検体/日以上

- ・行政検査における民間検査機関の利用（翌日以降の結果判明でもよい症例など 1,000件/日程度）
- ・民間需要に伴う自由診療における利用（1,000検体/日程度）

→ 約2,700検体/日以上